

はしがき

阪神・淡路大震災から10年を迎える今年度を最終年度として4年間にわたり、災害ボランティアの動向を検討してきた。本報告書は、次に示す5つのサブテーマのもとで行った研究成果をとりまとめたものである。

研究Ⅰ「震災当初から継続している災害ボランティア組織への参与観察」震災当初から行っている災害ボランティア組織（(特)日本災害救援ボランティアネットワーク）への参与観察を継続し、組織の変遷と平常時・災害時のボランティア活動の展開を記述した。

研究Ⅱ「災害ボランティア組織のネットワークの動向調査(1)」災害NPOが形成している全国レベルのネットワーク（全国災害救援ネットワーク：J-Net、および、震災がつなぐ全国ネットワーク：震つな）の動向を調査した。

研究Ⅲ「災害ボランティア組織のネットワークの動向調査(2)」研究Ⅰを通じて関係を深めていった「ロサンゼルス緊急事態ネットワーク」や「全米災害救援ボランティア機構」の活動について、現地調査を実施して活動の経緯や意義を検討した。

研究Ⅳ「平常時の災害ボランティア組織が行う活動調査」災害ボランティアが、防災を通じてコミュニティの活性化に果たす役割について検討した。具体的には、全国的なネットワーク（研究Ⅱ参照）による防災を視野に入れた地域づくりの活動を調査・観察し、両ネットワークの有志が震災10年を機に設立した「智恵のひろば」の経緯と意義を整理した。さらに、災害後の特徴ある地域づくりを行っている台湾について調査を行った。

研究Ⅴ「災害ボランティアに関する理論構築」震災以降の災害ボランティアの動きを理論的に総括し、震災10年以降を射程に入れた実践的な提言を導いた。

なお、研究期間内にも多くの災害が発生した。研究対象としている災害NPOが活動を開始した場合には、参与観察を実施した。

本報告書には、サブテーマごとの主たる研究成果を収録した。しかし、サブテーマが相互に連動しているために、各成果は、1つのサブテーマを中心に据えながらも、複数のサブテーマにわたって論じていることが多いことをお断りしておく。

本研究を進めるにあたり様々な場面でご協力を頂いた多くの皆様に改めて感謝の意を表します。

## 研究組織

研究代表者 渥美 公秀（大阪大学大学院人間科学研究科）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成13年度	1,700	0	1,700
平成14年度	1,700	0	1,700
平成15年度	1,500	0	1,500
平成16年度	1,900	0	1,900
総計	6,800	0	6,800

研究発表

(1) 学会誌等 (発表者名、テーマ名、学会誌名、巻号、年月日)

- Atsumi, T. Socially Constructed Motivation of Volunteers: A theoretical Exploration. Progress in Asian Social Psychology, in press.
- Atsumi, T. & Okano, K. Disaster Relief from Kobe and Its Significance in Bam, Iran Earthquake. The Bulletin of the Earthquake Research Institute, in press.
- 渥美公秀 ボランティア活動の活発な展開：新潟県中越地震を事例に 21 世紀ひょうご, 91, pp.14-21, 2005.
- 渥美公秀 語りのグループ・ダイナミクス：語るに語り得ない体験から 大阪大学大学院人間科学研究科紀要, 30, pp.159-173, 2004.
- 渥美公秀 台湾集集大地震における救援活動の記録 SYN (大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座紀要), 4, pp.189-206, 2003.
- 渥美公秀 災害ボランティアの現状：震災から 8 年を経て 聖母被昇天紀要, 2003
- 渥美公秀 ボランティア活動研究の現状と今後の理論的課題：社会心理学とグループ・ダイナミクス ボランティア活動研究, 11, pp.29-37, 2002.
- 渥美公秀 ボランティア研究の展開：物語の設計科学に向けた議論 SYN (大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座紀要), 3, pp.7-16, 2002.
- 渥美公秀・杉万俊夫 災害救援活動の初動時における災害 NPO と行政との連携：阪神・淡路大震災と東海豪雨災害との比較から 京都大学防災研究所年報, 46B, pp.93-98, 2003.
- 渥美公秀・鈴木勇・菅麻志保・柴田慎士・杉万俊夫 災害ボランティアセンターの機能と課題：宮城県北部地震を事例として 京都大学防災研究所年報, 47-B, pp.81-87, 2004.
- 高玉珠・渥美公秀・加藤謙介・関嘉寛 台湾集集大地震における慈済功德会の活動 ボランティア学研究, 5, pp.147-164, 2005.
- 菅麻志保・立木茂雄・渥美公秀・鈴木勇 災害ボランティアを含めた被災者支援システムに関する一考察：宮城県北部地震における災害救援ボランティアセンターの事例より 地域安全学会論文集, 6, pp.333-340, 2004.
- 杉万俊夫・渥美公秀・井上雄策 市民参加による社会的防災力の強化と災害救援 NPO の役割ー NPO「レスキューストックヤード」の事例研究 京都大学防災研究所年報, 46B, pp.99-104, 2003.
- 鈴木勇・渥美公秀 「集合的即興」の概念から見た災害救援に関する研究 ボランティア学研究, 2, pp.61-86, 2001.
- 鈴木勇・菅磨志保・渥美公秀 日本における災害ボランティアの動向：阪神・淡路大震災を契機として 実験社会心理学研究, 42(2), pp.166-186, 2003.

(2) 口頭発表 (発表者名、テーマ名、学会等名、年月日)

- 渥美公秀 災害ボランティアの 10 年：災害 NPO を含む災害救援システムの現状と展望 日本グループ・ダイナミクス学会第 52 回大会論文集 神戸国際会議場
- 渥美公秀 12.26 イラン南東部地震：協働想起のツールとしての絵画展 質的心理学会第 1 回大会 京都大学
- 渥美公秀 続・ボランティアの知：震災 10 年を前に 組織学会 2005 年度年次大会, 2004.
- Atsumi, T. Unnarrated experiences (3): Implications for group dynamics. 日本グループ・ダイナミクス学会第 50 回大会論文集 京都, 2003.

- 渥美公秀 災害ボランティアセンターの機能と課題：東海豪雨水害および宮城県北部自身を事例として 平成 15 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 京都テルサ, 2003.
- Atsumi, T. & Suzuki, I. A Nationwide Network of Disaster NPOs to Cope with Regional Vulnerability in Japan. The Third DPRI-ILASA International Symposium on Integrated Disaster Risk Management: Coping with Regional Vulnerability. Kyoto, 2003.
- Atsumi, T. Unnarrated experiences among volunteers active in disaster. The 25th International Congress of Applied Psychology. Singapore, 2002.
- 渥美公秀 語るに語り得ない体験について (1)：阪神大震災と東海豪雨水害に参加した災害ボランティアの事例 日本心理学会第 66 回大会論文集 広島大学, 2002.
- 渥美公秀 語るに語り得ない体験について (2)：中国内蒙古自治区への現地ツアーに参加した人々の会話および感想文から 国際ボランティア学会第 4 回大会 大阪 YMCA, 2002.
- 渥美公秀・杉万俊夫 東海豪雨災害時の災害 NPO と行政との連携を教訓とした地域防災体制の構築 平成 14 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 京都市, 2002.
- Atsumi, T. Socially constructed motivation of volunteers. The 4th Conference of Asian Association of Social Psychology. Melbourne, Australia, 2001.
- 高玉珠・渥美公秀・関嘉寛・加藤謙介 台湾集集大地震における慈済功德会の活動 国際ボランティア学会第 6 回大会 大阪大学, 2005.
- 杉万俊夫・渥美公秀 東海豪雨災害時の災害 NPO と行政との連携を教訓とした地域防災体制の構築 平成 14 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 京都リサーチパーク, 2003.

(3) 出版物 (著者名、書名、出版者等、年月日)

- 渥美公秀 災害ボランティアの現状 亀田弘行編 総合防災学への道 印刷中
- 渥美公秀 ボランティアの動機を問うということ 佐々木正道 (編) 大学生とボランティアに関する実証的研究 ミネルヴァ書房, 2003.
- 渥美公秀 一般ボランティア 日本自然災害学会 (監修) 防災事典 築地書館, 2002.
- 渥美公秀 専門ボランティア 日本自然災害学会 (監修) 防災事典 築地書館, 2002.
- 渥美公秀 ボランティアの知：実践としてのボランティア研究 大阪大学出版会, 2001.
- 渥美公秀 ボランティア活動 久世敏雄・齋藤耕二 (監修) 青年心理学事典 福村出版, 2001.
- 鈴木勇・渥美公秀 災害救援・まちづくりとボランティア 内海成治 (編) ボランティア学のおすすめ 昭和堂, pp.86-109, 2001.

研究成果による工業所有権の出願・取得状況

該当なし